

学生が語る三育の学び1

Saniku Gakuin Education-1

病院実習・東京衛生病院

同じ理念を共有する病院で経験を重ね

患者様の立場に立った献身的な看護を実践する



教科書で学んできた大切なものを 臨床実習を通して実感する日々です

東京衛生病院で専門領域別実習を行っています。実習では1人の患者さんを受け持ち、看護問題を見つけ、看護の展開の仕方を学んでいます。臨床に出ることで実際に働く看護師を直視し、看護師間の連絡の取り方や患者やその家族との関わり方、看護技術の方法、病院で働く多職種との連携の仕方などを学んでいます。

実習を経験して、自分の描いていた看護に対して空白だった中身が徐々に詰まってきたという印象です。教科書で学んで大切だと言われていたことが経験を通してどのように大切なのかを実感する日々です。

田結莊綾香さん Ayaka Tainosyo

私立 自由学園高等科出身

趣味：料理・茶道・散歩

母性看護学の実習で、母子一体の受け持ち実習をさせていただいた方から「沐浴指導をしてくれたことでよくわかったし、不安もあるけど頑張ろうと思う」「いい看護師さんになってね」といわれたことが励みになっています。

卒業後は、病棟で働いて看護技術を身につけた後、人々の健康維持、増進する働きにも高い関心がありますので、保健師として地域で1次予防事業に携わる働きにつきたいと考えています。

三育学院ではハンドベルやピアノの奉仕をしていた田結莊さん。好きな活動に積極的に参加し、学院生活をエンジョイしています。全人的看護や国際看護に興味にある方は三育は特にお勧め。これから看護師を目指す方は、どんな看護師になりたいかによって大学を選択するようしてほしいと・・・アドバイスしてくれました。

三育学院大学 アドミッションオフィス

〒298-0251 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500